

埼教組「長時間過密労働実態アンケート」2017年9月～12月実施

問い あなたが考える職場での長時間過密労働の「実態」に関して、何でも自由に記入して下さい。

〔小学校〕

- 校内会議・研修等により勤務時間外の労働がある。また、増加傾向に感じる。(20代・女)
- 「遅くまで仕事をしている＝がんばっている」という雰囲気を感じ早く帰りにくくなっている。(20代・女)
- 終わりのない学年会、思いつきの学年会が多い。
遅くなっているのが当たり前になっている。(40代・男)
- 校外行事(体育的)の練習に時間が取られている。(50代・女)
- 管理職が勤務時間を全く無視している。5時過ぎに印刷物の綴じ込みをしたり、研修で指導案の検討をしたりしている。(60代・女)
- 校務分掌が機能していない。
児童数が1300人を超えているのに安全をすべて1人では厳しい。(20代・男)
- 授業時数の増加やアンケート等、市教委からの要請の職員会議の時間が多すぎる。会議日以外にも入ることが当たり前になっている。もちろんアンケートの実施・報告の時間も年々増加して負担が多すぎる。(50代・女)
- 職場の雰囲気が長時間労働することが当たり前になっている。そもそも仕事量が時間内に終るものではない。(20代・女)
- 学習指導以外の業務が多すぎます。わたしの勤務する学校では、週1回ノー残業デーが設けられていますが、結局家で仕事をしたり別の時間で補ったりすることになるので解決になっていないと思います。(30代・女)
- 市独自のとりくみがあり、負担が大きいです。作文集、美術展、サッカー大会、バスケットボール大会、児童連絡協議会など。(30代・女)
- 担任一人当たりの仕事量が多い。(成績処理、テスト採点、保護者対応等)(30代・女)
- わたしの職場の地域は、校外行事が多く、市内○○大会等が年間を通してあります。そのため、練習や準備で学級事務の時間が全く取れません。何十年と改善を求めてきましたが、ますますヒートアップしていく状況です。(50代・女)
- 職員の意識が変わらないと長時間労働は改善されないと感じます。打合せが17:00以降だったりします。(30代・女)
- 授業時間が多すぎる。学力向上にがんじがらめになり、子どもに負担を強いている。
校務分掌を持てる正規職員が少ない。(女)
- ノー残業デーが設定されていても、割振り変更が設定されていても、それらが活用できないほどとりくまなければならないような業務が多い。授業準備よりも行事や研修等にかかる時間のほうが長い。土日も出なければ成り立たない場面もある。(30代・男)
- 勤務時間前に子どもが登校している段階で早出残業が生じている。
休み時間にもかかわらず、体育的活動や特化伝企業時が有り、仕事がさばききれない。や

たらに出張や〇〇研修等があり、職員が不在になったり、そのため連携が取りづらくなったりしている。

職員旅行も立派な業務のようなものだ。幹事になったら仕事も増える。当日も結局疲れてしまうだけ。(30代・男)

○学期はじめと終わりの短縮日課の日が少なくなり、とても忙しい・必要な会議や業務がほとんどだが、どうしても教材研究の時間がとれず、自宅に持ち帰って仕事をするが多くなった。17時を過ぎてから校内研修が始まったり、会議が入ったりする学校がまだあると聞く。(30代・女)

○配慮を要する児童や保護者が増え、ノウハウを知らない新任教員も毎年加わりその対応に追われる。(50代・女)

○不登校対応、障害がある(と思われる子)の対応に追われ、朝、休み時間、昼と水を飲む、トイレに行く間もないことがある。

保護者と話そうと思うと、結局8時ごろまで帰宅を待たないといけないことも多い。

(30代・男)

問い あなたが考える職場での長時間過密労働の「解決方法」に関して、何でも自由に記入して下さい。

〔小学校〕

○30人以下の学級。専科の教科を増やして空き時時間の確保。県・市などへの報告削減。年次研と免許更新の撤廃。(30代・女)

○会議は絶対17:00終了。その後学年の打合せ等もいれず、個人の時間に(学年主任の努力)。(40代・男)

○会議等、掲示板(PC)で済む内容も多く、校務PCを利用して全体の職集を減少すべき。(20代・女)

○定時で帰宅する日を週1回設ける。(20代・女)

○人を増やして学級の児童数を少なくする。三郷は市教委や他団体の行事を入れてコンクールの練習をしているので行事を減らす。(60代・女)

○アンケートの廃止。会議の簡略化。管理職から残業をしないように勧めていく。職員の未配置を早急になくす。(50代・女)

○担任外の教員を増やし、学年に数名配置してもらい、事務作業等手伝ってもらえるとだいぶ楽になると思います。教員でなくてもプリントを刷ったり、サポートをしてくれる補助員さんがいるだけでも違うと思う。(30代・女)

○土・日に行なわれるPTA行事の廃止。(30代・女)

○タイムカード等を利用した「勤務時間」の意識化、それぞれが自覚していくことも必要。勤務時間終了とともに消灯したり、留守電等にしたりして、外部にも学校の「営業時間」をはっきり示す(銀行でもどこでもそうですよね)(50代・女)

○授業時間を減らす。家庭に任せるところは家庭に任す。土曜に開催される暗唱大会等は規模を小さくする。自己評価シートに各自があげる目標のために仕事を新しく作り出します。良いものは良いが厳選されるとよい。(女)

問い あなたが考える職場での長時間過密労働の「実態」に関して、何でも自由に記入して下さい。

〔中学校〕

- 免許更新制度をなくして欲しい。
評価制度に関わるシステムを改善して欲しい。書類作成の時間がもったいない。
養護教諭などのように学期により時間労働の負荷が変動する職種もある。学校の規模も考慮し、負担軽減を考えて欲しい。(女)
- 深刻。部活動の終了時間が勤務終了後最大90分後なので、その時点につき30時間の超過勤務になってしまう。ノー部活デー、土日の部活動指導の禁止(一部でも)が必要。
(30代・男)
- 部活動がある限り長時間労働はなくなる。しかし、部活の取り組みは大切だと思う。
また、何かの「研究指定校」になると、その取り組みがとても大変である。その研究を減らしたり、何か少しでも減少させたりしないと解決しない。特に教育委員会の多忙さを解決させるのが必要だと思う。(20代・男)
- 仕事をテキパキとこなせば早く終るものをダラダラやっていたり、各提出物をさっさと片付けないので、集約する人が大変そう。おしゃべりが多い。
親が自分の子育てを学校にまかせすぎ。親が子どももっぼくなっていてこらえる力がなくなっている。子どもの機嫌取りをしている感がある。そういう親たちの分の仕事が多いのではないかと思う。(50代・女)
- 分掌が一部の教員に偏っている。もち授業数、分掌等のバランスが悪い。(30代・男)
- 日中の時間が全くないため、長時間労働を強いられていると感じます。
具体的には、8:20～朝の会や清掃指導、9:00～16:00は授業と自主学習のノートチェックと給食指導で、その後生徒指導があれば気づくと18:00になっています。日中に何も事務的なことができないため、それを夜や総長(6:00～)または土・日にやらなくてはいけなくなっています。(30代・男)
- ゆとりがなく本来一番大切な授業への準備ができていない。
家庭での問題まで学校へもってくるので、対応が厳しく時間が取られる。
部活動に時間をとられ、家庭での仕事も十分にできなくなる。(40代・男)

問い あなたが考える職場での長時間過密労働の「解決方法」に関して、何でも自由に記入して下さい。

〔中学校〕

- 幼稚園無償化などの目先のことではなく、教員数などを増やすこと。それによってできるゆとり時間に研修をするなどによって教育の質に力を入れる。明らかに教員数は不足しています。「やれ」と言われればやりますが、限界はありますし「よくしよう」と思っても時間的にできないことがたくさんあります。(30代・男)
- 研修も必要なものだけで、なるべく負担を減らしていく。
- 部活を任意にし、全職員ではなく、希望者で行なう。(40代・男)